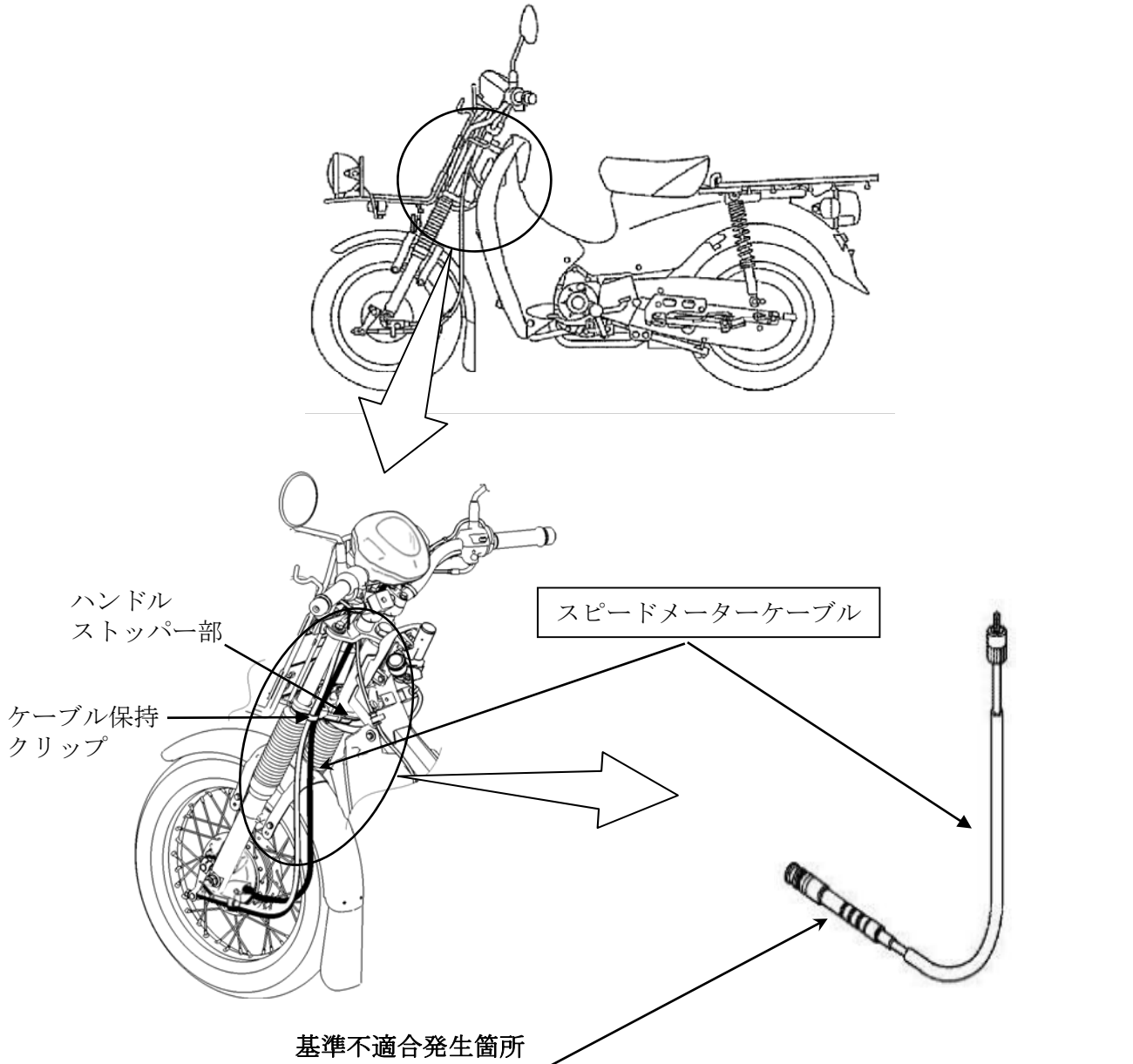


改善箇所説明図 ①



スピードメーターケーブルを保持するクリップの加締めが不十分なため、サスペンションが伸縮するとケーブルを保持出来ないものがある。そのため、ケーブルがクリップから外れ、駐車時にハンドルを左に止まるまで操作すると、ハンドルストッパー部に噛み込んで折損し、速度計が作動しなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、スピードメーターケーブルを新品と交換するとともに、ケーブル保持クリップを正しく加締める。

注： は交換部品を示す。

識別：車台番号打刻部付近に青色の識別ラベルを貼付する。